

平成17年度病害虫発生予察注意報第3号

平成17年8月26日
鳥取県病害虫防除所

注意報の概要

8月23日現在、ダイズでハスモンヨトウの被害が平年より多く見られています。今後も発生に好適な気象条件が続くと予想されており、現在発生が多い地域を中心に被害が増加するものと見込まれます。

また今後は、ソバ、野菜類などにおいても被害が予想されますので注意して下さい。

病害虫名：ハスモンヨトウ

- 1 対象作物 ダイズ、ソバ、
 野菜（キャベツ、ブロッコリー、イチゴ、トマト、サトイモ）
- 2 発生地域 全 域
- 3 発生時期 やや早い
- 4 発 生 量 多 い

- 5 注意報発令の根拠
 - (1) 8月23日現在、ダイズほ場における発生ほ場率は90.0%（平年：76.7%）、1a当たりの平均白変か所数は2.6か所（平年：1.1か所）と平年に比べて2倍以上の多発生となっている（表1）。また、防除の目安となる発生程度中以上（1a当たり白変葉か所数3か所以上）の初期被害がみられるほ場は、県平均で47.5%（平年：17.6%）と多く、特に県中部で発生が目立っている。
 - (2) ダイズほ場における被害葉の発生は平年よりやや早く、7月下旬頃から確認された。現在、若齢～中齢幼虫が発生しており、幼虫の分散が始まっているほ場が多い。一部の発生が多いほ場では、若齢～老齢幼虫が混在している。
 - (3) 8月下旬現在、サトイモほ場では、発生ほ場率93.3%、被害株率48.7%、被害葉率27%と多く発生しており（表2）、キャベツ、ブロッコリーほ場でも被害株率が20%の多発ほ場もみられている（表3）。
 - (4) 8月中旬現在、フェロモントラップへの雄成虫の誘殺は鳥取市橋本で平年よりやや少ないものの、他の調査地点では平年に比較して多い。また、幼虫発生のピークは8月下旬以降と予想され、今後、さらに被害が増加すると考えられる（表4）。
 - (5) 8月19日発表の気象予報によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並と予想されており本虫の発生を助長する。

- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) ダイズ
 - ア 老齢幼虫の防除は困難なので、若齢幼虫の食害によって発生する白変葉の早期発見と早期防除に努め、防除適期を失しないよう注意する。
 - イ ダイズほ場では、新葉の出葉により葉が重なり合い白変葉が確認され難くなるので、ほ場内での観察を十分に行う。
 - ウ 防除の目安は、1a当たりの白変か所数3か所以上とする。
 - エ 発生初期の場合、葉の切除などの捕殺を行うか、カルホス粉剤、トレボン粉剤DLなどでスポット散布を行う。中～老齢幼虫が混在する場合はロムダン粉剤DL、老齢幼虫が多くなった場合はラービフロアブルの1,000倍液またはランネート45水和剤の1,000～2,000倍液などを散布する。

(2) ソバ

- ア 9月上旬以降、被害が出始めると予想されるので、ほ場の観察を十分に行い、白変葉の早期発見に努め、葉の切除などの捕殺を行う。
- イ 発見が遅れ、ほ場全体に発生が見られる場合は、ロムダンフロアブルの2,000倍液などで薬剤防除を行う。

(3) 野菜

- ア 薬剤の感受性が高い若齢幼虫(体長1cm以下)のうちに防除を行う。食害痕がみられはじめの頃が防除適期である。8月下旬～9月上旬、10月の発生に注意する。
- イ 食害痕は不整形の白斑となり、さらにかすり状に透けて見える。はじめ卵塊から孵化した幼虫は集団で産卵場所やその周辺にとどまり、葉の表皮を残して葉肉部を食害する。ほ場内を観察し、食害痕が目立つ株に注意する。
- ウ 食害痕および若齢幼虫の発生が見られた場合には、病害虫防除指針等を参照し薬剤防除を行う。

表1 ダイズにおける発生状況(8月下旬)

年	発生ほ場率	1a当たり平均白変葉		
		平均白変か所数	3か所以上の発生ほ場率	
H10	87.8%	1.8	41.5%	
H11	63.6%	0.9	15.2%	
H12	50.0%	0.8	2.5%	
H13	84.5%	1.4	20.7%	
H14	73.3%	0.7	5.0%	
H15	93.3%	1.8	33.3%	
H16	88.9%	1.0	8.3%	
平年(H7-H16)	76.7%	1.1	17.6%	
H17	県平均	90.0%	2.6	47.5%
	東部	100.0%	3.0	40.0%
	中部	92.3%	3.7	92.3%
	西部	75.0%	1.0	8.3%

表2 サトイモにおける発生状況(8月下旬)

市町村名	調査ほ場数	発生ほ場率	平均被害株率	平均被害葉率
鳥取市	6	100.0%	62.5%	37.8%
倉吉市	3	66.7%	13.3%	4.3%
大栄町	3	100.0%	38.3%	13.9%
大山町	3	100.0%	66.7%	41.4%
平均	15	93.3%	48.7%	27.0%

表3 キャベツ・ブロッコリーにおける発生状況(8月下旬)

作目	調査ほ場数	発生ほ場率	平均被害株率
キャベツ	6	33.3%	4.6%
ブロッコリー	8	12.5%	0.5%(卵塊)

表4 フェロモントラップへの誘殺状況

月・半月	鳥取市橋本		湯梨浜町		鳥取市河原町		大山町大山地区 中山地区	
	H17年	平年	H17年	平年	H17年	H15-16平均	H17年平均	
7・1	14	25.9	398	81.8	87	8	254	256
7・2	22	31.7	189	66.5	22	43	199	230
7・3	15	30.8	213	45.8	33	48	167	281
7・4	9	24.5	278	74.8	53	32	463	428
7・5	6	26.0	292	116.4	67	7	586	443
7・6	18	29.6	597	158.5	43	26	378	498
7月計	84	168.5	1,966	543.8	305	164	2,048	2,136
8・1	14	32.6	533	151.8	138	82	404	499
8・2	9	41.6	532	173.8	167	65	733	516
8・3	9	44.6	432	190.4	137	108	523	457
8・4		37.8	493	176.1	74	115	586	754

注) 鳥取市は乾式トラップ、他はファネルトラップ。大山町大山地区は3か所の平均、中山地区は2か所の平均。